



## 2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社  
 コード番号 4958 URL <https://www.t-hasegawa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 海野 隆雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 中村 稔 TEL 03-3241-1151  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第1四半期の連結業績 (2022年10月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	15,515	8.5	1,532	△5.1	1,435	△18.3	1,041	△14.5
2022年9月期第1四半期	14,295	17.5	1,614	60.0	1,758	64.5	1,217	△23.2

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 △2,502百万円 (-%) 2022年9月期第1四半期 1,235百万円 (△21.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	25.30	25.22
2022年9月期第1四半期	29.60	29.50

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	127,728	107,214	83.7
2022年9月期	133,553	111,017	82.9

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 106,958百万円 2022年9月期 110,777百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	-	29.00	-	32.00	61.00
2023年9月期	-	-	-	-	-
2023年9月期 (予想)	-	30.00	-	31.00	61.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年9月期の連結業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	5.8	7,000	△13.1	7,450	△17.9	6,170	△22.9	149.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期1Q	42,708,154株	2022年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	1,562,784株	2022年9月期	1,562,744株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期1Q	41,145,380株	2022年9月期1Q	41,111,163株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化に向けた動きが進んだことで、景気が持ち直していくことが期待されるものの、ウクライナ情勢の長期化、原材料価格や資源価格の高騰、物価の上昇等が国内外の経済活動に与える影響が懸念され、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など、依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は前年同期に比べ1,220百万円(8.5%)増加し、15,515百万円となりました。なお、当社単体の売上高は前年同期比2.8%の増収、主要な海外連結子会社の売上高は、米国子会社が円安の影響により前年同期比17.3%の増収(現地通貨ベースでは同5.8%の減収)、中国子会社が前年同期比17.0%の増収(現地通貨ベースでは同4.7%の増収)、マレーシア子会社が前年同期比47.9%の増収(現地通貨ベースでは同29.8%の増収)となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、当社単体、米国子会社、及び中国子会社の売上増加を主因に前年同期比8.8%増加し、13,297百万円となりました。

フレグランス部門は、中国子会社の売上が増加したことを主因に前年同期比7.0%増加し、2,217百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は、原料費の増加等に伴う売上原価率の悪化、並びに販売費及び一般管理費の増加を主因に前年同期に比べ82百万円(5.1%)減少し、1,532百万円となりました。経常利益は営業利益の減少並びに為替差損189百万円の計上(前年同期は為替差益64百万円の計上)を主因に、前年同期に比べ322百万円(18.3%)減少し、1,435百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ176百万円(14.5%)減少し、1,041百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における損益計算書の換算に適用する主要通貨の日本円への換算レート(期中平均レート)は、下記のとおりです。

1 米ドル=141.59円(前年同期113.71円、前年同期比24.5%円安)

1 人民元=19.87円(前年同期17.78円、前年同期比11.8%円安)

1 マレーシアリングgit=30.98円(前年同期27.18円、前年同期比14.0%円安)

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高等を含めて表示しております。

(日本)

売上高は9,518百万円(前年同期比2.8%増)、セグメント利益は1,069百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

(アジア)

売上高は3,807百万円(前年同期比20.1%増)、セグメント利益は730百万円(前年同期比25.8%増)となりました。

(米国)

売上高は2,910百万円(前年同期比18.4%増)、セグメント損失は294百万円(前年同期は3百万円のセグメント損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

前連結会計年度末に比べ、有価証券が999百万円増加した一方で、現金及び預金が3,407百万円、受取手形及び売掛金が233百万円、原材料及び貯蔵品が329百万円それぞれ減少しました。これらを主因として、流動資産は前連結会計年度末に比べ2,936百万円減少し、63,053百万円となりました。

## (固定資産)

前連結会計年度末に比べ、投資有価証券が462百万円増加した一方で、償却が進んだことにより、有形固定資産が1,430百万円、のれんが771百万円、無形固定資産その他に含まれる顧客関連資産が1,151百万円それぞれ減少しました。これらを主因にして、固定資産は前連結会計年度末に比べ2,888百万円減少し、64,674百万円となりました。

## (流動負債)

前連結会計年度末に比べ、未払法人税等が1,052百万円、賞与引当金が1,147百万円それぞれ減少したことを主因として、流動負債は前連結会計年度末に比べ2,171百万円減少し、11,160百万円となりました。

## (固定負債)

前連結会計年度末に比べ、繰延税金負債が120百万円増加したことを主因として、固定負債は149百万円増加し、9,353百万円となりました。

## (純資産の部)

前連結会計年度末に比べ、為替換算調整勘定が3,876百万円減少したことを主因として、純資産合計は3,802百万円減少し、107,214百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,351	16,944
受取手形及び売掛金	18,722	18,488
有価証券	8,999	9,999
商品及び製品	7,750	7,829
仕掛品	78	20
原材料及び貯蔵品	9,013	8,683
その他	1,099	1,111
貸倒引当金	△26	△24
流動資産合計	65,989	63,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,593	18,571
その他(純額)	14,158	13,750
有形固定資産合計	33,752	32,321
無形固定資産		
のれん	6,815	6,044
その他	13,379	12,293
無形固定資産合計	20,194	18,337
投資その他の資産		
投資有価証券	12,589	13,051
退職給付に係る資産	18	18
その他	1,039	975
貸倒引当金	△30	△29
投資その他の資産合計	13,616	14,015
固定資産合計	67,563	64,674
資産合計	133,553	127,728
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,211	5,815
未払法人税等	1,694	641
賞与引当金	1,632	484
役員賞与引当金	74	—
その他	3,718	4,218
流動負債合計	13,331	11,160
固定負債		
繰延税金負債	1,101	1,222
退職給付に係る負債	7,442	7,483
資産除去債務	69	69
長期末払金	212	207
その他	378	369
固定負債合計	9,204	9,353
負債合計	22,536	20,513

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,513	7,513
利益剰余金	81,898	81,622
自己株式	△2,555	△2,555
株主資本合計	92,220	91,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,657	6,978
為替換算調整勘定	12,098	8,222
退職給付に係る調整累計額	△199	△187
その他の包括利益累計額合計	18,556	15,013
新株予約権	239	256
純資産合計	111,017	107,214
負債純資産合計	133,553	127,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	14,295	15,515
売上原価	8,455	9,414
売上総利益	5,839	6,100
販売費及び一般管理費	4,224	4,568
営業利益	1,614	1,532
営業外収益		
受取利息	38	43
受取配当金	24	26
為替差益	64	—
その他	22	34
営業外収益合計	149	104
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	—	189
その他	4	9
営業外費用合計	6	201
経常利益	1,758	1,435
特別損失		
固定資産廃棄損	4	10
特別損失合計	4	10
税金等調整前四半期純利益	1,754	1,425
法人税等	521	383
四半期純利益	1,232	1,041
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,217	1,041



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,232	1,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,467	320
為替換算調整勘定	1,457	△3,876
退職給付に係る調整額	12	12
その他の包括利益合計	2	△3,543
四半期包括利益	1,235	△2,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,216	△2,502
非支配株主に係る四半期包括利益	18	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
香料事業(注) 3	8,732	3,128	2,434	14,295	—	14,295
顧客との契約から生じる収益	8,732	3,128	2,434	14,295	—	14,295
外部顧客への売上高	8,732	3,128	2,434	14,295	—	14,295
セグメント間の内部売上高 又は振替高	525	42	23	590	△590	—
計	9,257	3,170	2,458	14,885	△590	14,295
セグメント利益又は損失(△)	1,071	580	△3	1,649	△34	1,614

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△34百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額25百万円、棚卸資産の調整額△56百万円、その他△2百万円であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 香料事業はフレーバー、フレグランス等の製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
香料事業(注) 3	8,905	3,754	2,855	15,515	—	15,515
顧客との契約から生じる収益	8,905	3,754	2,855	15,515	—	15,515
外部顧客への売上高	8,905	3,754	2,855	15,515	—	15,515
セグメント間の内部売上高 又は振替高	613	53	55	721	△721	—
計	9,518	3,807	2,910	16,236	△721	15,515
セグメント利益又は損失(△)	1,069	730	△294	1,505	26	1,532

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額26百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額18百万円、棚卸資産の調整額8百万円、その他△0百万円であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 香料事業はフレーバー、フレグランス等の製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。